

## 注意点

- 本検査を利用しても有用な情報が得られないことがあります。
- 遺伝子の変化が見つかったとしても、対応する薬剤がなければ治療には繋がりません。対応する薬剤が保険適用外の場合、治療が全額自己負担になる可能性があります。
- 対応する薬剤があっても承認状況や治験により治療を受けられない場合があります。
- 対応する薬剤を使用した場合の効果を保証する検査ではありません。
- 本検査では、数%の確率で遺伝的な要素が見つかる可能性があります。ご家族や血縁者に関わる情報ですので、そうした情報も含めて結果をお聞きになりたいかを事前にお尋ねします。また、料金は別途必要となりますが、当院にて遺伝カウンセリングを受けることができます。
- 本検査の対象となるのは標準的な治療が終了している(終了が見込まれる方も含む)固形がんの患者さん、または原発不明がんや希少がんの患者さんです。その他医学的な判断が必要な条件があるため、ご自身ががん遺伝子パネル検査の対象に該当するかどうかは、主治医にご相談ください。

患者さんからの直接のお申し込みは受け付けておりません。通院中の主治医にご相談ください。



一人ひとりにあわせた  
治療の可能性があります

熊本大学病院  
がんゲノムセンター

TEL : 096-373-5643  
FAX : 096-373-6287



<https://www.kuh.kumamoto-u.ac.jp/dept/e10.html>



がん遺伝子  
パネル検査

熊本大学病院  
がんゲノムセンター

# がん遺伝子パネル検査について

## Q がんゲノム医療とは？

A 患者さんのがんに関わる遺伝子を調べます。  
その結果出てきた遺伝子変化の情報を診断や治療に活かす医療です。

## Q 検査で何がわかるの？

A がんは何らかの要因で細胞の遺伝子が様々変化し、正常に働かなくなることで発生します。そのがんの遺伝子変化を調べることで、ご自身のがんの特徴がわかります。「がん遺伝子パネル検査」は、特徴にあった治療法を探すための検査です。

## Q どうやって検査するの？

A 手術や生検によって採取した組織・血液（リキッドバイオプシー）を使い、検査を実施します。

## Q 検査を受けると現在受けている治療が変わるの？

A 原則、現在の主治医のもとで治療を継続します。検査で新たに見つかった薬剤や治療については、主治医の先生とご相談ください。

## Q 検査にかかる費用は？

A 当院では、保険診療の検査のみ取り扱っております。  
検査費用はご自身の負担額が3割負担の方で約170,000円となります。  
検査にかかる費用は「高額療養費制度」が利用できます。

## Q どこで検査を受けられるの？

A 熊本県内で検査を受けられる施設は、  
当院の他、熊本赤十字病院、済生会熊本病院です。



## 検査の流れ

01

### 主治医より申し込み

診療情報および病理組織標本をご提供いただきます。



02

### がんゲノム検査外来

がんゲノム担当医師より、がん遺伝子パネル検査について詳しく説明します。



外来受診（1回目）

03

### 同意書への署名

関係診療科にて再度説明を行います。  
同意される場合は、同意書に署名いただきます。

※リキッドバイオプシーの場合は採血を行います。

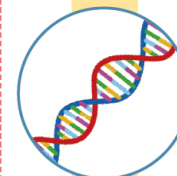


外来受診（2回目）

04

### 検査の実施

検体を検査会社へ送付し、がん遺伝子パネル検査を実施します。  
（結果が届くまで2～3週間程度）



約  
2ヶ月

05

### 専門家による検討会

当院関係者による検討会（エキスパートパネル）を実施します。



06

### 検査結果の説明

診療科担当医より、検討会（エキスパートパネル）の結果を受けて、患者さんへ結果説明をします。

外来受診（3回目）